

令和5年度

事業報告書

収支計算書

公益財団法人兵庫県科学技術振興財団

目 次

令和5年度 事業報告

I. 法人の概要

1. 目的	1
2. 沿革	1
3. 基金の状況	1
4. 役員	1
5. 名誉会長	2
6. 会議	
(1) 理事会の開催	2
(2) 評議員選定委員会の開催	5
(3) 評議員会の開催	5
7. 役員改選	
(1) 令和5年6月15日付	6

II. 事業の概要

1. 研究及び科学技術に関する助成事業（科学技術振興助成金事業）	
(1) 周知方法	6
(2) 助成金申請受付状況	6
(3) 選考委員会	7
(4) 助成金交付件数及び助成額	8
(5) 交付対象となった研究概要	8
(6) 科学技術振興に関する助成金贈呈の会	9
2. 特記事項	11

令和5年度 経理状況

貸借対照表（令和6年3月31日現在）	12
正味財産増減計算書（令和5年4月1日～令和6年3月31日）	13
正味財産増減計算書（内訳表）（令和5年4月1日～令和6年3月31日）	14
財務諸表に対する注記	15
財産目録（令和6年3月31日現在）	16
収支計算書（予算対比）（令和5年4月1日～令和6年3月31日）	17
監査報告書	18

令和5年度 事業報告書

I. 法人の概要

1. 目的

兵庫県における科学技術の研究開発を助成し、科学技術に関する知識及び思想の普及並びに啓発に努めることにより、科学技術の発展と科学思想の浸透を図り、もって兵庫県の産業の振興と県民の生活及び福祉の向上に資することを目的とする。

2. 沿革

昭和51年4月17日 設立許可（昭和51年4月17日付兵庫県指令文第1-3号）
基本財産 2億円（出損者：兵庫県）
昭和51年4月26日 設立登記
平成25年4月9日 公益財団法人へ移行登記

3. 基金の状況

基本財産	200,000,000円
出損金受領年月日	昭和51年4月19日
出損者	兵庫県
管理状況	・ 楽天社債 105,696,719円 契約締結日：令和3年12月27日 ・ ソフトバンクG社債 91,000,000円 契約締結日：令和4年2月4日 ・ 定期預金 454,891円 ・ 普通預金 2,848,390円

(注) 出損金はハニー化成株が兵庫県に寄附したものである。

4. 役員

令和5年6月15日改選後

財団役職	氏名	所属・役職名
会長	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 参事役
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
理事	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
理事	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長
理事	山崎 徹	兵庫県立工業技術センター 所長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 代表社員
監事	前川 学	兵庫県産業労働部 新産業課長

財団役職	氏名	所属・役職名
評議員	井上二三夫	シスメックス株式会社 知的財産本部 理事
評議員	山田文一郎	大阪市立大学 名誉教授
評議員	川村 昌志	公益財団法人新産業創造研究機構 理事 事務局長
評議員	青木 誠	川崎重工業株式会社 技術開発本部 知的財産部長
評議員	神戸 宏明	公益社団法人兵庫工業会 専務理事
評議員	小林 拓哉	兵庫県産業労働部 次長兼国際局長
評議員	山本 正剛	株式会社神戸製鋼所 知的財産部長

会長 1 理事 6 監事 2 評議員 7 (計 16 名)

5. 名誉会長

令和 3 年 1 2 月 2 日付就任

財団役職	氏名	所属・役職名
名誉会長	齋藤 元彦	兵庫県知事

6. 会議

(1) 理事会の開催

① 第 1 回理事会

日時 令和 5 年 5 月 1 5 日 (月) 1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 0 0

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室 II

出席者 (順不同・敬称略)

会長	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 参事役
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
理事	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
理事	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長
理事	山崎 徹	兵庫県立工業技術センター 所長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 代表社員
事務局	田中 雅道	一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

注記 畑理事・鈴木監事は Zoom にて参加

議決事項

- (1) 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告同収支決算 (案) について
- (2) 第 2 号議案 役員改選 (案) について
- (3) 第 3 号議案 評議員選定委員会招集 (案) について
- (4) 第 4 号議案 評議員会招集 (案) について

報告事項

代表理事の職務執行状況報告について

② 第2回理事会

日時 令和5年6月15日(木) 11時00分～11時30分

場所 ハニー化成株式会社(本社)会議室

神戸市長田区日吉町3-1-33

出席者(順不同・敬称略)

理事	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 参事役
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
理事	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
理事	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長
理事	山崎 徹	兵庫県立工業技術センター 所長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 代表社員
監事	前川 学	兵庫県産業労働部 新産業課長
事務局	田中 雅道	一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

注記 西野理事・畑理事・鈴木監事は Zoom にて参加

議決事項

(1) 代表理事の選出

報告事項

(1) 代表理事の職務執行状況報告について

③ 第3回理事会

日時 令和5年12月13日(水) 10:00～12:00

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室Ⅱ

出席者(順不同・敬称略)

会長	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 参事役
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
理事	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
理事	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長

理事 山崎 徹 兵庫県立工業技術センター 所長
監事 鈴木 祥克 太陽グラントソントン税理士法人 代表社員
事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

注記 畑理事 鈴木監事は Zoom にて参加

議決事項

- (1) 第1号議案 令和5年度兵庫県科学技術振興助成金 交付について
- (2) 第2号議案 科学技術振興に関する第48回助成金贈呈の会（案）について
- (3) 第3号議案 中間期事業報告について

報告事項

- (1) 代表理事の職務執行報告について

④ 第4回理事会

日時 令和6年3月8日（金）13:00～14:00

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流2階 セミナー室II

出席者（順不同・敬称略）

会長 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役
理事 半谷 正裕 住友ゴム工業株式会社 知的財産部
理事 平岡 靖敏 神戸商工会議所 参事役
理事 吉田 眞也 ハニー化成株式会社 代表取締役社長
理事 西野 孝 神戸大学大学院工学研究科 教授
理事 畑 豊 兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長
理事 山崎 徹 兵庫県立工業技術センター 所長
監事 鈴木 祥克 太陽グラントソントン税理士法人 代表社員
監事 前川 学 兵庫県産業労働部 新産業課長
事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

注記 畑理事 鈴木監事は Zoom にて参加

議決事項

- (1) 第1号議案 令和6年度事業計画同収支予算（案）について

報告事項

- (1) 代表理事の職務執行状況報告について
- (2) 令和6年度主な行事予定について

(2) 評議員選定委員会の開催

日時 令和5年5月15日(月) 14時00分～14時30分

場所 兵庫県工業技術センター 技術交流館 セミナー室Ⅱ

出席者(順不同・敬称略)

選定委員	山田 和俊	兵庫県立工業技術センター 次長(技術調整担当)
選定委員	川井 諭	公益社団法人兵庫工業会 事務局長
選定委員	川村 昌志	公益財団法人新産業創造研究機構 理事 事務局長
選定委員	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 代表社員
選定委員	田中 雅道	一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事
出席理事	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役

審議事項 第1号議案 「評議員選任の件」

(3) 評議員会の開催

日時 令和5年6月15日(木) 10:00～11:00

場所 ハニー化成株式会社(本社)会議室

神戸市長田区日吉町3-1-33

出席者(順不同・敬称略)

評議員	井上二三夫	シスメックス株式会社 知的財産本部 理事
評議員	山田文一郎	大阪市立大学 名誉教授
評議員	川村 昌志	公益財団法人新産業創造研究機構 理事 事務局長
評議員	青木 誠	川崎重工業株式会社 技術開発本部 知的財産部長
評議員	神戸 宏明	公益社団法人兵庫工業会 専務理事
評議員	小林 拓哉	兵庫県産業労働部 次長兼国際局長
評議員	山本 正剛	株式会社神戸製鋼所 知的財産部長
会長	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 参事役
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
理事	西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授
理事	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長
理事	山崎 徹	兵庫県立工業技術センター 所長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 代表社員
監事	木南 晴太	兵庫県企画部 情報政策課長

陪席 前川 学 兵庫県産業労働部 新産業課長

事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長
注記 青木評議員、山本評議員、西野理事、畑理事、鈴木監事は Zoom にて参加

議決事項

- (1) 第1号議案 令和4年度事業報告同収支決算の承認について
- (2) 第2号議案 役員改選の承認について

報告事項

- (1) 令和5年度事業計画同収支予算について

7. 役員改選

- (1) 令和5年6月15日付

任期満了に伴う改選

理事（順不同・敬称略）

神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役	重任
半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部	重任
平岡 靖敏	神戸商工会議所 参事役	重任
吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長	重任
西野 孝	神戸大学大学院工学研究科 教授	重任
畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長	重任
山崎 徹	兵庫県立工業技術センター 所長	重任

辞任に伴う一部改選

監事（順不同・敬称略）

前川 学	兵庫県産業労働部 新産業課長	就任
------	----------------	----

II. 事業の概要

1. 研究及び科学技術に関する助成事業（科学技術振興助成金事業）

- (1) 周知方法

- ・ 関係団体、県内各商工会議所・商工会・県民局等への案内送付
- ・ ホームページ掲載 ・ 内部機関紙告知（兵庫県発明協会 機関誌）

- (2) 助成金申請受付状況

- ① 受付期間 令和5年7月3日～令和5年9月29日

② 申請件数・金額

一般企業	7件	3,500,000円
研究機関	1件	500,000円
合計	8件	4,000,000円

(3) 選考委員会

① 日時 令和5年11月17日(金) 10:00~12:00

会場 兵庫県立工業技術センター 技術交流館2階 セミナー室II

出席者(順不同・敬称略)

委員 黒田 公一 ハニー化成株式会社 執行役員 明石事業所所長兼技術部部长
委員 山田文一郎 大阪市立大学 名誉教授
委員 西野 孝 神戸大学大学院工学研究科 教授
委員 畑 豊 兵庫県立大学 理事兼副学長 産学連携・研究推進機構長
委員 平田 健一 神戸大学大学院医学研究科 教授
委員 山崎 徹 兵庫県立工業技術センター 所長
委員 前川 学 兵庫県産業労働部 新産業課長
事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

② 研究開発助成基準

1. 助成対象

兵庫県 県下の助成を必要とする個人、企業、研究機関(大企業、大規模プロジェクトは含まない)が次に掲げる研究開発等の事業(以下「助成事業」という。)を行うに必要な経費を、会長が適当と認めるものについて、予算の範囲内において交付する。

- (1) 研究開発の試作試験費に対する助成
- (2) 新技術の実施化資金に対する助成

2. 選考基準

- イ. 県下の科学技術の振興に寄与するもの。
- ロ. 新規な学術または技術であること。
- ハ. その計画が申請者において実施可能なものであること。

3. 選考方法

- イ. 申請書、添付資料により審査を行う。
- ロ. 必要に応じて内容聴取、または臨場調査することもある。
- ハ. 選考は次の区分に評価する
 - A・・・助成金の交付が適当である
 - B・・・Aに準じる
 - C・・・助成金の交付は適当でない
- ニ. 助成額は、年度予算を参考に選考委員の総意により、査定する。

(4) 助成金交付件数及び助成額

一般企業	4件	2,000,000円
研究機関	1件	500,000円
合計	5件	2,500,000円

(5) 交付対象となった研究概要

<p>「遺体の口外法 X線撮影治具」</p> <p style="text-align: right;">株式会社フラット 代表取締役社長 佐藤 壽延</p> <p>遺体の身元確認の方法の一つとして、歯形の照合がある。従来、撮影者が遺体の口内に入れたフィルムを指で押さえて X線撮影（口内 X線撮影）していた。しかし硬直した遺体の口を動かしたりすると、遺体を損壊させる恐れがある。また、撮影者が口内のフィルムを押さえる必要があり、X線の直接の被ばくは避けられなかった。そこで以下の装置を創案した。</p> <p>略コの字形の治具の一方側に X線感光体を配置し、他方側に X線照射装置を配置する。両者は遺体の頭部を配置可能な程度に離間して固定可能である。治具は手動で適宜移動でき、遺体の口部を様々な方向からエックス線撮影することができる。よって、硬直した遺体であっても、歯形を容易に X線撮影することができる。撮影者の X線直接被ばくも回避できる。</p> <p style="text-align: right;">助成金額 50万円</p>
<p>「熱変換効率の高いアルミニウム製フィンチューブ式熱交換機の開発」</p> <p style="text-align: right;">井上ヒーター株式会社 代表取締役 井上 雅晴</p> <p>本取り組みでは、熱伝導率が高いアルミニウムフィンを対象にアルミフィンチューブ式熱交換器の交換率の改善をはかるものである。アルミニウムは、もともと熱伝導率が高く熱伝達がよいため熱交換率が大きかったこともあり、装置の小型化への市場ニーズが顕在化しなかった。しかし、生産量が多くよく使われている機種であるので、熱交換率を向上できれば、弊社は他社との競争優位性を一気に高めることができる。そのために、フィンピッチの隔を 3mm から 2mm に縮減し容積辺り密度を 1.5 倍に増やし伝熱面積を増やす。さらに、フィンからガス体への熱伝導率を改善するために熱流体解析ソフトを使ってフィン表面の静圧分布、流速分布、熱伝導率を計算し最適な形状・構造のデポの形状を選択し、設計・試作して、実験装置を使用して、熱伝導率を測定・評価する。</p> <p style="text-align: right;">助成金額 50万円</p>
<p>高熱伝導型蓄熱カプセルエネバンク[®]を利用した温室栽培技術の開発</p> <p style="text-align: right;">株式会社ヤノ技研 代表取締役社長 矢野 直達</p> <p>潜熱蓄熱材は高い蓄熱密度・長期熱安定性、経済性、低公害性等が認められる。この要求を満たすために必要な蓄熱材の基本性能として高熱伝導性を付与することが求められる。この高熱伝導性蓄熱材を作る配合材開発技術と蓄熱材を安定して効率よく利用可能なシステム装置と良くマッチングするカプセル化・システム化技術が不可欠である。本研究はこの実現のために蓄熱材は多くの化合物より経済的で高熱伝導性のあるグラファイト利用配合技術を開発した。更に、省エネ温室に利用し易い平板で凸凹の形状を工夫して平面の 1.4 倍の熱交換性を持ち耐久性の高い蓄熱カプセルを開発した。この結果、省エネ性 20～35%、作物の成育促進 20～30%増の脱炭素農業に適した。施設温室栽培の技術を確立し実用化促進を農水省、兵庫県他自治体と推進している。</p> <p style="text-align: right;">助成金額 50万円</p>

<p>「腹腔鏡下肝切除門脈クランプ器具の開発」</p> <p style="text-align: right;">神戸バイオメディクス株式会社 代表取締役 里 和也</p>	
<p>ウレタンチューブ内に円弧状の板バネとプレートを組合わせた二個の金属ユニットを並列に並べて挿入し、ユニット間を折り畳むことにより、円弧頂点に圧力がかかり、均一な力でクランプが可能になる。ウレタンチューブには、片側に穴を開け、もう片側の端を穴に通しいくつかのストッパーを用意することにより、締め付け強度の調節が可能となる。</p> <p style="text-align: right;">助成金額 50万円</p>	
<p>「内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）における選択的胆管挿管を支援するナビゲーションシステムの開発」</p> <p style="text-align: right;">神戸大学大学院医学研究科 特定助教 酒井 新</p>	
<p>内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）は内視鏡を十二指腸に挿入し、十二指腸乳頭部から胆管・膵管にカテーテルを挿管し、X線透視を用いて造影する検査法で、狭窄部の病理学的診断やステント留置術といった治療を行うことができる。ERCPにおける胆管挿管は容易でなく、さらに胆管挿管困難はERCP後膵炎のリスク因子で、重症化すると死亡に至ることもある。胆管挿管が難しい最大の理由は内視鏡・X線透視で胆管の走行がわからないことにある。X線透視上で胆管方向が分かれば選択的胆管挿管が容易になることが期待できる。</p> <p>今回我々は事前に撮影されたMR胆管膵管像（MRCP）の3Dデータを、X線透視の2D画面に表示し、選択的胆管挿管を支援するナビゲーションシステムを提案し、研究開発を行うこととした。</p> <p style="text-align: right;">助成金額 50万円</p>	

(6) 科学技術振興に関する助成金贈呈の会

① 昨年に続き兵庫県立工業技術センターにて助成金贈呈の会と成果発表会を開催した。成果発表会は財団ホームページで広く参加者を募集し、兵庫県立工業技術センター研究員の皆さんも参加して開催された。発表者・受賞者・参加者による交流会を開催し、発表内容を中心に技術交流を行った。

日時 令和6年2月15日（木）13:30～17:00

場所 兵庫県立工業技術センター 本館 セミナー室III

参加者 63名

内容

1. 科学振興に関する助成金贈呈の会 (13:30～13:55)

主催挨拶	公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 会長	神門 登
審査経過報告	助成金選考委員会委員長	大阪市立大学名誉教授 山田 文一郎 氏
来賓挨拶	兵庫県産業労働部次長	小林 拓哉 氏

令和5年度助成金贈呈式

2. 令和4年度受賞者による研究成果発表 (14:10～15:50)

3. 参加者交流会 (16:00～17:00)

兵庫県科学技術振興助成金 年度別実績

(助成金単位:千円)

年度	回数	一般		学校		機関		合計	
		採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額
昭和 51	第 1回	9	6,330	3	3,050	1	1,150	13	10,530
昭和 52	第 2回	3	1,650	5	5,100	3	3,050	11	9,800
昭和 53	第 3回	12	6,600	3	2,400	-	-	15	9,000
昭和 54	第 4回	6	3,600	6	4,200	-	-	12	7,800
昭和 55	第 5回	4	5,000	5	4,000	-	-	9	9,000
昭和 56	第 6回	6	6,000	5	5,000	-	-	11	11,000
昭和 57	第 7回	5	6,400	6	5,600	-	-	11	12,000
昭和 58	第 8回	4	6,800	9	8,200	-	-	13	15,000
昭和 59	第 9回	5	6,000	7	7,400	-	-	12	13,400
昭和 60	第 10回	4	5,000	8	8,300	-	-	12	13,300
昭和 61	第 11回	5	4,000	6	6,000	-	-	11	10,000
昭和 62	第 12回	4	3,700	7	6,300	-	-	11	10,000
昭和 63	第 13回	5	3,600	7	6,400	-	-	12	10,000
平成 1	第 14回	5	3,500	8	6,500	-	-	13	10,000
平成 2	第 15回	2	1,900	9	8,100	-	-	11	10,000
平成 3	第 16回	3	2,800	8	8,400	-	-	11	11,200
平成 4	第 17回	5	4,000	7	6,000	-	-	12	10,000
平成 5	第 18回	3	2,200	6	5,800	-	-	9	8,000
平成 6	第 19回	2	1,300	3	3,700	-	-	5	5,000
平成 7	第 20回	0	0	5	5,000	-	-	5	5,000
平成 8	第 21回	1	550	2	1,450	-	-	3	2,000
平成 9	第 22回	1	500	5	3,500	-	-	6	4,000
平成 10	第 23回	1	800	4	3,200	-	-	5	4,000
平成 11	第 24回	2	1,400	3	2,400	-	-	5	3,800
平成 12	第 25回	1	750	4	3,050	-	-	5	3,800
平成 13	第 26回	1	750	4	3,050	-	-	5	3,800
平成 14	第 27回	1	300	5	3,500	-	-	6	3,800
平成 15	第 28回	0	0	5	3,300	-	-	5	3,300
平成 16	第 29回	0	0	5	2,900	-	-	5	2,900
平成 17	第 30回	1	300	6	3,300	-	-	7	3,600
平成 18	第 31回	5	2,100	3	1,500	-	-	8	3,600
平成 19	第 32回	2	800	3	1,200	-	-	5	2,000
平成 20	第 33回	3	900	3	900	-	-	6	1,800
平成 21	第 34回	4	1,200	3	900	-	-	7	2,100
平成 22	第 35回	4	1,500	2	600	-	-	6	2,100
平成 23	第 36回	6	1,800	5	1,200	-	-	11	3,000

平成 24	第 37回	2	500	4	1,200	-	-	6	1,700
平成 25	第 38回	1	200	6	1,800	-	-	7	2,000
平成 26	第 39回	1	300	4	1,200	-	-	5	1,500
平成 27	第 40回	3	700	3	900	-	-	6	1,600
平成 28	第 41回	3	600	4	1,100	-	-	7	1,700
平成 29	第 42回	2	450	3	750	-	-	5	1,200
平成 30	第 43回	1	200	6	1,400	-	-	7	1,600
令和 元	第 44回	4	1,100	2	500	-	-	6	1,600
令和 2	第 45回	2	1,000	1	500	-	-	3	1,500
令和 3	第 46回	2	800	3	1,200	-	-	5	2,000
令和 4	第 47回	4	1,900	1	500	-	-	5	2,400
令和 5	第 48回	4	2,000	1	500	-	-	5	2,500
合計		154	103,780	223	162,950	4	4,200	381	270,930

(注：機関助成は昭和52年度で整備完了につき終了)

2. 特記事項

開催日時	概要	場所
令和 5 年 4 月 20 日	令和 4 年度監査（鈴木監事）	書面審査・オンライン
4 月 28 日	令和 4 年度監査（木南監事）	兵庫県庁
5 月 15 日	第 1 回理事会	兵庫県立工業技術センター
5 月 15 日	評議員選定委員会	兵庫県立工業技術センター
6 月 15 日	定時評議員会	ハニー化成(株) 会議室
6 月 15 日	第 2 回理事会	ハニー化成(株) 会議室
6 月 21 日	公益法人定期報告	オンライン提出(公益法人 info)
6 月 29 日	役員変更登記	神戸地方法務局
7 月 03 日	令和 5 年度助成金 申請受付開始	—
9 月 29 日	令和 5 年度助成金 申請受付締切	—
11 月 17 日	令和 5 年度助成金 選考委員会	兵庫県立工業技術センター
12 月 13 日	第 3 回理事会	兵庫県立工業技術センター
令和 6 年 1 月 15 日	兵庫県発明協会新春交歓会出席	オリエンタルホテル
2 月 15 日	科学技術振興に関する助成金贈呈の会	兵庫県立工業技術センター
3 月 08 日	第 4 回理事会	兵庫県立工業技術センター

貸借対照表
令和6年3月31日現在

(単位：円)

A	B	C	D
科 目	当年度	前年度	増 減 B - C
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,931,947	1,888,946	43,001
現金	108,307	99,326	8,981
普通預金三井住友銀行兵庫支店	1,823,640	1,789,620	34,020
流動資産合計	1,931,947	1,888,946	43,001
2. 固定資産			0
(1) 基本財産			0
投資有価証券	196,696,719	198,120,914	△1,424,195
普通預金三井住友銀行兵庫支店	2,848,390	1,424,195	1,424,195
定期預金三井住友銀行兵庫支店	454,891	454,891	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			0
投資有価証券	6,000,000	6,000,000	0
特定資産合計	6,000,000	6,000,000	0
固定資産合計	206,000,000	206,000,000	0
資産合計	207,931,947	207,888,946	43,001
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
未払金	650,000	650,000	0
流動負債合計	650,000	650,000	0
負債合計	650,000	650,000	0
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産			0
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	7,281,947	7,238,946	43,001
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
正味財産合計	207,281,947	207,238,946	43,001
負債及び正味財産合計	207,931,947	207,888,946	43,001

正味財産増減計算書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

A	B	C	D
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減 B - C
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			

正味財産増減計算書(内訳表)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

	A 科目	B 公益目的会計		C 法人会計	D 内部取引 控除	E 合計
		研究助成事業	小計			
1						
2	I 一般正味財産増減の部					
3	1. 経常増減の部					
4	(1) 経常収益					
5	① 基本財産運用益	[2,454,647]	[2,454,647]	[857,967]	[0]	[3,312,614]
6	基本財産受取利息	2,454,647	2,454,647	857,967	0	3,312,614
7	② 特定資産運用益	[151,800]	[151,800]	[0]	[0]	[151,800]
8	特定資産受取利息	151,800	151,800	0	0	151,800
9	③ 雑収益	[46]	[46]	[0]	[0]	[46]
10	受取預金利息	46	46	0	0	46
11	経常収益計	2,606,493	2,606,493	857,967	0	3,464,460
12	(2) 経常費用					
13	① 事業費	[2,707,438]	[2,707,438]	[]	[]	[2,707,438]
14	委員会費	12,000	12,000			12,000
15	開発助成費	2,500,000	2,500,000			2,500,000
16	通信運搬費	54,583	54,583			54,583
17	消耗品費	75,055	75,055			75,055
18	賃借料	15,800	15,800			15,800
19	諸謝金	50,000	50,000			50,000
20	② 管理費	[]	[]	[714,021]	[0]	[714,021]
21	会議費	()	()	(46,500)	(0)	(46,500)
22	旅費			42,000	0	42,000
23	賃借料			4,500	0	4,500
24	事務費	()	()	(17,521)	(0)	(17,521)
25	旅費交通費			560	0	560
26	消耗品費			7,599	0	7,599
27	通信運搬費			7,222	0	7,222
28	雑費			2,140	0	2,140
29	事務委託費	()	()	(650,000)	0	650,000
30	経常費用計	2,707,438	2,707,438	714,021	0	3,421,459
31	当期経常増減額	△ 100,945	△ 100,945	143,946	0	43,001
32	2. 経常外増減の部					
33	(1) 経常外収益					
34	経常外収益計	0	0	0	0	0
35	(2) 経常外費用					
36	経常外費用計	0	0	0	0	0
37	当期経常外増減額	0	0	0	0	0
38	当期一般正味財産増減額	43,001	43,001	0	0	43,001
39	一般正味財産期首残高	7,238,946	7,238,946	0	0	7,238,946
40	一般正味財産期末残高	7,281,947	7,281,947	0	0	7,281,947
41	II 指定正味財産増減の部					
42	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
43	指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0	0	200,000,000
44	指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0	0	200,000,000
45	III 正味財産期末残高	207,281,947	207,281,947	0	0	207,281,947

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

課税売上がないため、税込にて処理

2. 会計方針の変更

該当事項はなし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
楽天社債	107,120,914	0	1,424,195	105,696,719
ソフトバンクG社債	91,000,000	0	0	91,000,000
定期預金	454,891	0	0	454,891
普通預金	1,424,195	1,424,195	0	2,848,390
小計	200,000,000	1,424,195	1,424,195	200,000,000
特定資産				
研究開発助成引当資産				
ソフトバンクG社債	5,000,000	0	0	5,000,000
ソフトバンク社債	1,000,000	0	0	1,000,000
小計	6,000,000	0	0	6,000,000
合計	206,000,000	1,424,195	1,424,195	206,000,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
楽天社債	105,696,719	105,696,719	0	0
ソフトバンクG社債	91,000,000	91,000,000	0	0
定期預金	454,891	454,891	0	0
普通預金	2,848,390	2,848,390	0	0
小計	200,000,000	200,000,000	0	0
特定資産				
研究開発助成引当資産				
ソフトバンク社債	1,000,000	0	1,000,000	0
ソフトバンクG社債	5,000,000	0	5,000,000	0
小計	6,000,000	0	6,000,000	0
合計	206,000,000	200,000,000	6,000,000	0

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲は、現金預金、未払金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記に記載するとおりである。(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	1,888,946	1,931,947
未払金	650,000	650,000
次期繰越収支差額	1,238,946	1,281,947

財 産 目 録
令和6年3月31日現在

(単位：円)

A	B	C	D
科 目	内 容	使 用 目 的 等	金 額
1			
2	I 資産の部		
3	1. 流動資産		
4	現金預金		
5	現金	手元保管	108,307
6	普通預金	三井住友銀行兵庫支店	1,823,640
7	流動資産合計	運転資金として 運転資金として	1,931,947
8	2. 固定資産		
9	(1) 基本財産		
10	投資有価証券	楽天社債	105,696,719
11		ソフトバンクG社債	91,000,000
12		公益目的財産であり、運用益の74.1% を公益目的事業の財源として、25.9%を 管理費の財源として使用している	
13	普通預金	三井住友銀行兵庫支店	2,848,390
14	定期預金	三井住友銀行兵庫支店	454,891
15	基本財産合計		200,000,000
16	(2) 特定資産		
17	投資有価証券	ソフトバンクG社債	5,000,000
18		ソフトバンク社債	1,000,000
19	特定資産合計	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用している	6,000,000
20	固定資産合計		206,000,000
21	資産合計		207,931,947
22	II 負債の部		
23	1. 流動負債		
24	未払金	未払い金	650,000
25	流動負債合計	(一社) 兵庫県発明協会に対する未払い金	650,000
26	負債合計		650,000
27	正味財産		207,281,947

収 支 計 算 書 (予 算 対 比)
令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日 まで

(単 位 : 円)

A	B	C	D
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 C-B
1			
2	I 収入の部		
3	[4,736,809]	[4,736,809]	[0]
4	基本財産運用収入	基本財産利息収入	0
5	[151,800]	[151,800]	[0]
6	2 特定資産運用収入	特定資産利息収入	0
7	[62]	[46]	[△16]
8	3 雑収入	雑収入	△16
9	4,888,671	4,888,655	△16
10	1,238,946	1,238,946	0
11	6,127,617	6,127,601	△16
12	II 支出の部		
13	[2,708,800]	[2,707,438]	[△1,362]
14	1 事業費支出	委員会費支出	0
15	2,500,000	2,500,000	0
16	63,000	54,583	△8,417
17	67,000	75,055	8,055
18	16,800	15,800	△1,000
19	50,000	50,000	0
20	[755,676]	[714,021]	[△41,655]
21	(81,800)	(46,500)	(△35,300)
22	60,000	42,000	△18,000
23	21,800	4,500	△17,300
24	(23,876)	(17,521)	(△6,355)
25	0	560	560
26	10,000	7,599	△2,401
27	5,000	7,222	2,222
28	8,876	2,140	△6,736
29	(650,000)	(650,000)	0
30	[1,424,195]	[1,424,195]	[0]
31	4,888,671	4,845,654	△43,017
32	0	43,001	43,001
33	1,238,946	1,281,947	43,001

監査報告書

令和6年 5月 8日

公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団
会 長 神 門 登 殿

監 事 鈴 木 祥 克

私は、公益財団法人兵庫県科学技術振興財団の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財産目録並びに収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 財務諸表及び財産目録並びに収支計算書は、法人の令和5年度末日現在の財政状態並びに同年事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

監査報告書

令和6年 5月14日

公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団
会 長 神 門 登 殿

監 事 前 川 学

私は、公益財団法人兵庫県科学技術振興財団の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財産目録並びに収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 財務諸表及び財産目録並びに収支計算書は、法人の令和5年度末日現在の財政状態並びに同年事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上